

■ HRD FINE ART 展覧会開催のご案内 ■

Interface — 界面 —

キム・ヒョングアン イ・ジュンヒョン チャン・スジョン 栗原亜也子 須貝旭

会 場： HRDファインアート

(京都市上京区上御霊竪町494-1)

会 期： 2023年 2月11日(土)～ 3月4日(土)

時 間： 木曜日 11:00～15:00

金・土曜日 11:00～19:00

休 廊： 日～水曜日(事前のアポイントにより観覧可能)

【展覧会概要】

HRD ファインアートでは、2月11日から3月4日までの会期で、日韓5名のアーティストによる国際交流グループ展「Interface — 界面 —」を開催します。本展は、2020年2月に開催した「Framework」展の続編的な位置づけの展覧会で、同展と同じく、出品作家の一人でもあるチャン・スジョンとの共同企画となります。出品作家は、韓国のキム・ヒョングアン、イ・ジュンヒョン、チャン・スジョン、日本の栗原亜也子、須貝旭です。

展覧会タイトルの「Interface」は、コンピューター関連で用いられる「インターフェース」として日本語にも定着していますが、本来は「界面」「接点」「接触面」といったような意味を持つ単語です。2つの異なる物体や世界、システム同士が接触する場としての「インターフェース」は、ボーダーレスでグローバルな現代社会においては多種多様なかたちで現出します。それは、新たな実りをもたらすこともあれば、厳しい軋轢を生み出すこともあります。また、アートフェスティバルや地域アートイベントなど、アートそのものに社会的なインターフェース(つなぎ)の役割を期待するような動きもしばしば見られます。

本展は、「社会」や「コミュニケーション」「記録」などを題材として創作活動を行う韓国と日本のアーティストたちが生み出す「インターフェース」に触れる展覧会となります。韓国と日本という異なる国家/文化の接点として、また作品(作家)と社会(観客)との間に生まれる反応の起点として、またコロナ禍において新たな意味を帯びることとなった「接触」の再考の契機として、様々な角度から「界面」の意味を問いかけます。是非ご高覧ください。

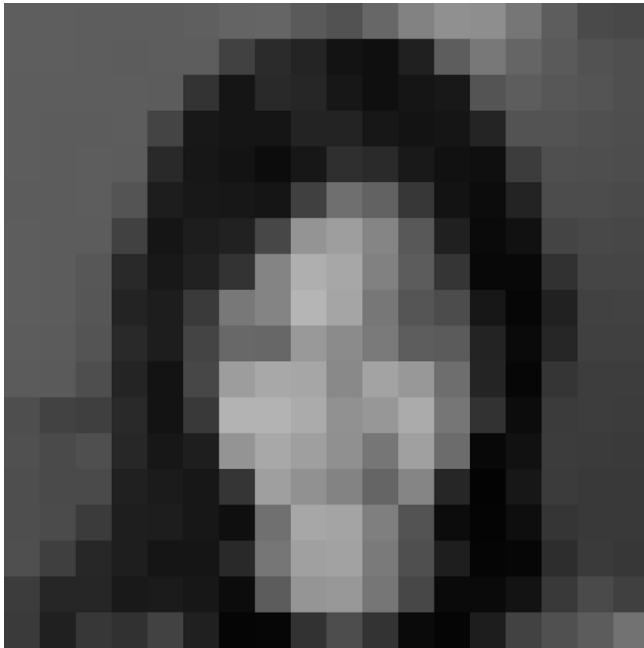
【展示作品・参考作品】



キム・ヒョングァン *Untitled 2*
カーボン転写／紙 32×24cm 2005年



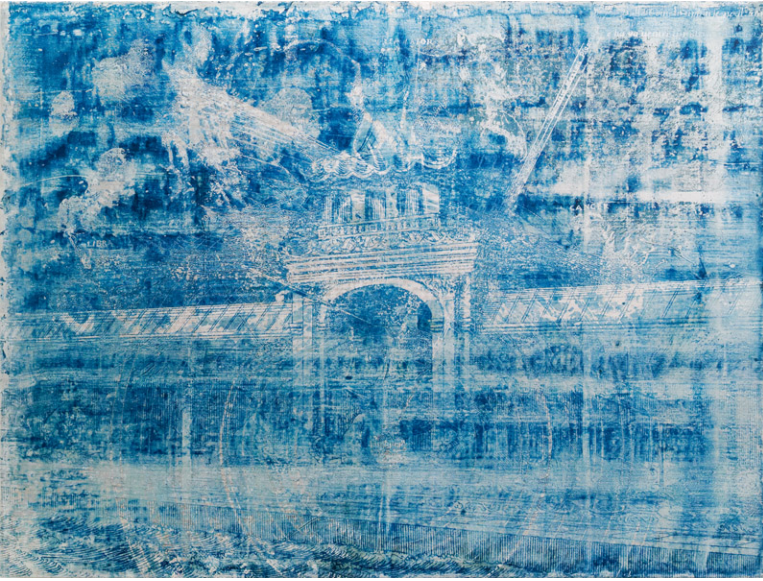
イ・ジュンヒョン *untitled*
油彩／厚紙 45×34×2.5cm 2022年



チャン・スジョン *reflection of 12th (Shadow Mirrorシリーズ)*
ミクストメディア／紙 60×60cm 2023年



栗原 亜也子 *グリッドの中の風景 本牧埠頭*
アクリル、ポラロイドフィルム 8.8×10.8cm 2023年



須貝 旭 *de cometis 1698*

サイアノタイプ、アクリルジェルメディウム、銀箔／パネル 36×48cm 2022年

【作家略歴】

キム・ヒョングァン

Hyunggwon KIM

- 1970 ソウル生まれ
- 1995 ソウル大学美術学部卒業
- 1998 ソウル大学大学院修士課程修了
- 2006 ゴールドスミスカレッジ（ロンドン）修士号取得（美術）
- 現在、ソウル在住

主な個展

- 1996 「Drawings and Photographs」 Yoon Gallery（ソウル）
- 2004 「Void of Representation」 Hanjun Plaza Gallery（ソウル）
- 2007 「Long Slow Distance」 Toilet Gallery（ロンドン）
「Long Slow Distance」 Gallery Soso（パジユ）
「FOUR PAINTINGS」 sadi Window Gallery（ソウル）
- 2008 「Long Slow Distance」 Gallery Noon（ソウル）
「Long Slow Distance」 Korea Art Center（プサン）
- 2009 「Afterglow」 Gallery Soso（パジユ）
- 2010 「Long Slow Distance」 Vit Gallery（ソウル）
「Long Slow Distance」 Gallery Bora（ソウル）
- 2012 「LIGHTHOUSE」 Gallery Soso（パジユ）
- 2014 「LINEHOUSE」 UNC Gallery（ソウル）
- 2015 「WINDOWS」 Gallery Royal（ソウル）
- 2017 「BRUSH PAST」 Tpong-in Auction Gallery（ソウル）

主なグループ展

- 1998 「Young Korean Artists 98」 韓国国立現代美術館（韓国クアチョン）
「The Retina and The Sense of Touch」 DongA Gallery（ソウル）
- 1999 「21C New Frontier」 Samsung Plaza Gallery（ソナム）
「Korean Contemporary Art-Trends in the 90s」 Ellen Kim Murphy Galley（ソウル）
- 2002 「Inter Project-Symbiosis」 インチョン文化センター（インチョン）
「Private Narratives」 プサン現代美術館（プサン）
- 2004 「Still-Life」 イルミン美術館（ソウル）
- 2006 「Degree Show」 ゴールドスミスカレッジ（ロンドン）
「Zenith 06」 Nomoregrey Gallery（ロンドン）
「George Polke Invites」 George Polke Gallery（ロンドン）
「Still Dynamics」 Jerwood Space Gallery（ロンドン）
「Nocturnal」 Sarah Myerscough Gallery（ロンドン）
- 2009 「Artist Gallery - Fleeting」 ソウル大学美術館（ソウル）
「Drawing of the world」 world of drawing」 ソウル大学美術館（ソウル）

「Emotional Landscape」 Pocheon Art Valley (ポチョン)
2012 「Tagging Art Works」 キョンギ道美術館 (アンサン)
2020 「Framework」 HRD ファインアート (京都)

作品収蔵

プサン現代美術館 (プサン)
キョンギ道美術館 (アンサン)
韓国国立現代美術館 (クアチョン)

イ・ジュンヒョン

Joonhyung LEE

- 1976 ソウル生まれ
- 2002 ソウル大学美術学部卒業
- 2006 ロンドン芸術大学セントラル・セント・マーチンズ（ロンドン）修士号取得（美術）
- 2016 ソウル大学大学院博士号取得（美術）
- 現在、ソウル在住

主な個展

- 2002 「There is no sun」 Gallery La Mer（ソウル）
- 2004 「Dog Project」 Enprini Avenue（ソウル）
- 2009 「Chapter 11」 Corner Gallery（ソウル）
- 2010 「MADE IN HEAVEN」 Space of Art etc（ソウル）など
- 2011 「Joon Hyung Lee Show」 ソウル大学 Woosuck Hall（ソウル）
- 2012 「Joon Hyung Lee Show」 Eugean Gallery,（ソウル）
- 2013 「It is that」 Space of Art etc（ソウル）
- 2014 「Brave New World」 Void Gallery（ソウル）
- 2015 「Out of Frame」 Space O'NewWall（ソウル）
- 2016 「Out of Frame」 space xx（ソウル）
- 2017 「Out of Frame」 Gallery 644（ソウル）
- 2018 「Brave New World」 Art Delight（ソウル）

主なグループ展

- 2006 「Still Dynamics」 Jerwood Space（ロンドン）
「Quick and Dirty」 Barge House（ロンドン）
- 2008 「In my shoes」 Gallery Factory（ソウル）
「HyoHyo no Hyo」 韓国総領事館（大阪）
- 2011 「Color Ball」 powerless gallery（ソウル）
「face+face+face」 Space of Art etc（ソウル）
「Fantasy」 HanJeon Art Gallery（ソウル）
- 2012 「Two person's show」 Eugean Gallery（ソウル）
「Portrait」 O-Jaemi Dong Gallery（ソウル）
- 2013 「35th JOONANG Fine Art Prize」 ソウルアーツセンター（ソウル）
「The public's Extended」 Culture Station Seoul 284（ソウル）
- 2015 「mindful mindless」 SOMA Museum of Art（ソウル）
- 2018 「Art and Labor」 ソウル大学美術館（ソウル）
- 2019 「LIES」 ソウル大学美術館（ソウル）
- 2020 「Framework」 HRD ファインアート（京都）

受賞

- 2010 「なよろ国際雪像彫刻大会」第2位（名寄）
- 2012 「SeMA Selected Emerging Artist」ソウル市立美術館（ソウル）
- 2013 「35th JoonAng Fine Art Prize」（ソウル）

アーティストインレジデンス

- 2012 「Artist Registry Program」SOMA Museum of Art Drawing Center（ソウル）

チャン・スジョン

Soojong JANG

- 1976 ソウル生まれ
2005 サリー・インスティテュート・オブ・アート&デザイン（英国ファーナム）美術学士号取得
2014 ヨンセ（延世）大学コミュニケーション大学院（ソウル）修士号取得（メディアアート）
現在、ソウル在住

主な個展

- 2016 「Zero Point」 Dari Gallery（チェジュ）
2017 「Escape」 Art Busan（プサン）
2018 「Shadow Mirror」 Union Art Fair（ソウル）
2019 「Spatial Inquiries - Dialogue」 Selo Arts Space（ソウル）

主なグループ展

- 2012 「Void」 Selo Arts Space（ソウル）
2013 「Heritage 600 Tomorrow 600」 ゴヤン・アラムヌリ美術館（ゴヤン）
2016 「Non Place」 Gallery Toast（ソウル）
2018 「Prompt」 Selo Arts Space（ソウル）
2019 「Mirage」 Instant Garden（ソウル）
「Aporia」 Space Ba（ソウル）
「4482」 Selo Arts Space（ソウル）
「Dialogue」 Selo Arts Space（ソウル）
「Exchange」 Corner Gallery（ソウル）
2020 「Framework」 HRD ファインアート（京都）

助成

- 2002 「Summer Portfolio Grant」 アカデミー・オブ・アート大学（サンフランシスコ）

栗原 亜也子

Ayako KURIHARA

1974 横浜生まれ
 1999 愛知県立芸術大学美術学部油画科卒業
 現在、神奈川在住

主な個展

2006 「Mind Games」 BankART Studio NYK (横浜)
 2007 「あたらしい地図」 BankART Studio NYK (横浜)
 「Untitled / Ayako Kurihara」 ギャラリーマキ (東京)
 2009 「fiction/error」 ギャラリーマキ (東京)
 2010 「ピクチャーズ」 エドウィン・アール・モレナール アトリエ (横浜)
 2011 「H氏との対話」 Demado Contemporary Art Project (京都)
 2013 「Conversation with the Vacant Hotel」 Vacant Hotel (ソウル)
 2015 「Mind Games」 HRD ファインアート (京都)
 2020 「I Am Here, There and Everywhere: Mind Games 2020」 HRD ファインアート (京都)

主なグループ展

1997 「バットドーフ展 Rolling Library～とどろく！図書館～」 名古屋市立緑図書館 (名古屋)
 2007 「CET07 - Central East Tokyo 07」 泰岳ビル (東京)
 「Light Room vol.4 山手 111 番館図書室展」 山手 111 番館 (横浜)
 2008 「Self Portrait」 ギャラリー坂巻 (東京)
 「Blue Dot Asia」 Seoul Arts Center (ソウル)
 「食と現代美術 part4 (横濱芸術のれん街 2)」 (BankART1929 主催) 伊勢屋 (横浜)
 2012 「Building a Castle of Sand (or Breaking It)」 Next Door Gallery (ソウル)
 2013 「Heritage 600 = Tomorrow 600」 アラム美術館 (韓国ゴヤン)
 「the Line _ Art, Open the Way for Reunification」 平和ヌリ公園／臨津閣非武装地帯 (韓国パジュ)
 2015 「飛鳥アートビレッジ 彼方のうつわ」 国営飛鳥歴史公園／高松塚地区芝生広場 (奈良)
 「飛鳥 光の回廊 2015」 明日香村／伝飛鳥板蓋宮 (奈良)
 2016 「黄金町バザール 2016」 黄金町 (横浜)
 「明日香の匠」 奈良県立万葉文化館 (奈良)
 2017 「黄金町 AIR2017」 黄金町 (横浜)
 2018 「黄金町 AIR2017 成果展」 黄金町 (横浜)
 「THE GAME MUST GO ON ～ 栗原亜也子+ヨム・ソジン」 HRD ファインアート (京都)
 「黄金町バザール 2018 特別プログラム pass by：動くものと動かないもの」 (横浜)
 2020 「UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川 2020」 大井川鉄道沿線 (静岡)

アーティストインレジデンス、公開制作、オープンスタジオなど

- 2007 オープンスタジオ「アトリエがけ+ことりカフェ」アトリエがけ（横須賀）
- 2007-08 公開制作「クリハラアヤコ企画準備室」BankART Studio NYK（横浜）
- 2008 オープンスタジオ「アトリエがけ+ことりカフェ+音」アトリエがけ（横須賀）
- 2009 公開制作「Mind Games 2009 in 桜荘」BankART 桜荘（横浜）
- 2010 公開制作「Mind Games 2010」BankART Studio NYK（横浜）
- 2013 オープンスタジオ「Open Studio 2013」BankART Studio NYK（横浜）
- 2015 アーティスト・イン・レジデンス「飛鳥アートビレッジ」明日香村（奈良）
- 2016-17 アーティスト・イン・レジデンス「黄金町 AIR」黄金町（横浜）

須貝 旭

Asahi SUGAI

- 1990 兵庫生まれ
 - 2014 愛知県立芸術大学美術学部油画専攻卒業
 - 2017 タフツ大学美術館芸術学部（ボストン）滞在留学
 - 2020 愛知県立芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了
- 現在、愛知在住

主な個展

- 2017 「e・g・g・o 0059 須貝旭展」大雅堂（京都）
- 2019 「これから来る過去、通り過ぎた未来、おぼろげな今」ギャラリーヴァール（名古屋）
- 2022 「彗星考」L gallery（名古屋）

主なグループ展

- 2014 「Cubic Museum」シラパコーン大学アートギャラリー（バンコク）
「Parallel Hexagon」ギャラリーくさ笛（名古屋）
「日タイ美術学生交流展」チェンマイ大学美術学部ギャラリー（チェンマイ）
- 2016 「物質としての絵画」瞻百堂画廊（東京）
「視界に満ちる海」同時代ギャラリー（京都）
「技法変態」愛知県立芸術大学サテライトギャラリー（名古屋）
- 2017 「美大生展」SEZON ART GALLERY（東京）
「Arts in Bunkacho ～トキメキが、爆発だ～」文化庁パブリックスペース（東京）
「Kissing the Wall」タフツ大学附属ボストン美術館スクール（ボストン）
「The Drawn World」タフツ大学附属ボストン美術館スクール（ボストン）
- 2020 「Framework」HRD ファインアート（京都）
- 2021 「青の時間を纏う椅子・緑の光を纏う椅子」Lights Gallery（名古屋）

受賞／助成

- 2015 「第30回ホルベインスカラシップ」ホルベイン画材株式会社（大阪）
- 2016 「平成28年度奨学生」公益財団法人堀田育英財団（大阪）
「Dアート賞」公益財団法人堀科学芸術振興財団（名古屋）
- 2017 「第34回研究助成」公益財団法人日東学術振興財団（名古屋）

アーティストインレジデンス

- 2014 シラパコーン大学（バンコク）
- 2019 AGA LAB（アムステルダム）

【感染対策について】

HRD ファインアートでは、展示プログラムの再開にあたり、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止対応として、以下の措置を導入・実施いたします。

① オープニングレセプションの中止

従来、展覧会初日にアーティストを囲んでオープニングレセプションを開催してきましたが、当面の間これをすべて中止します。

② 検温・不織布マスク着用・手指消毒の徹底

ご来場の方は、事前（当日）に検温をお願いいたします（会場で非接触式体温計による検温をお願いする場合があります）。37.5℃以上の熱のある方や咳等の呼吸器症状のある方はご来場をお断りします。また、来場時は不織布マスクまたは同等以上の感染防止性能を持つマスクの着用をお願いします（ウレタンマスク、布マスク、ガーゼマスクでご来場の方には未使用の不織布マスクをお渡ししますので、そちらを着用してください）。健康上の理由等によりマスクを着用することができない場合は、事前にお申し出ください。また、ギャラリー入口に設置する手指消毒用のアルコールでの手指消毒をお願いします。

③ 来場人数制限の実施

ギャラリー内の混雑を避けるため、来場人数の制限を設け、ギャラリーへの入場をお待ちいただく場合があります。

④ 臨時休業・完全アポイント制への移行の可能性

新型コロナウイルスの感染拡大を見極め、状況に応じてギャラリーを臨時に休業、または事前アポイントによる完全予約制とさせていただく可能性もあります。こうした場合は、ギャラリーのウェブサイト www.hrdfineart.com や SNS のチャンネルを通じて、なるべく早い段階で告知を行います。

お問い合わせ：HRD FINE ART
（エイチアルディー・ファインアート）

住所：〒602-0896 京都市上京区上御霊壱町494-1
電話：090-9015-6087（担当：原田）
ウェブ：<http://www.hrdfineart.com>
Eメール info@hrdfineart.com

